

令和5年度 東京都内湾水生生物調査 8月鳥類調査 速報

●実施状況

令和5年8月3日に鳥類調査を実施した。天候は晴れで、気温 32.3～33.3℃、南の風、風速 3.5～5.4m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 12 時 15 分(2cm)、満潮は 18 時 57 分(204cm)であった(気象庁のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚(東なぎさ)	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
作業時刻	13:34-14:55	11:16-12:15	09:45-10:40
天候	晴	晴	晴
気温(℃)	33.3	32.8	32.3
風向	南	南	南
風速(m/sec)	5.4	4.7	3.5
備考	風が強く、干潟は非常に広く干出していた。	干潟は非常に広く干出。	風がやや強く、波も少し高かった。海浜公園側の砂浜に人は少なかった。

●主な出現種等

	葛西人工渚(東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場海浜公園
数が多かった 鳥類上位 2 種	カワウ(2640 羽) ウミネコ(1736 羽)	カワウ(671 羽) ウミネコ(200 羽)	カワウ(759 羽) ダイサギ(13 羽)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・シロチドリ、オオソリハシシギ、オオセグロカモメ等、重要種として 9 種を確認。 ・干潟でカワウとウミネコ、オオセグロカモメの群れが休息、サギ類が採餌・休息。 ・シギ・チドリ類はシロチドリ、オオソリハシシギ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギが干潟で採餌・休息。 ・カモ類はカルガモが干潟で休息。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ササゴイ、チュウサギ、コチドリ、シロチドリ、ミサゴ等、重要種として 10 種を確認。 ・干潟でカワウとウミネコ、ユリカモメが休息。 ・シギ・チドリ類はコチドリ、シロチドリ、キアシシギ、イソシギを干潟や護岸で確認。 ・サギ類はアオサギ、ダイサギ、コサギが採餌・休息。ササゴイが護岸で休息、チュウサギが干潟で採餌。 ・ミサゴ 1 羽が杭の上で休息、別の 1 羽が魚を持って飛翔。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キアシシギ等、重要種として 6 種を確認。 ・カワウの個体数は第六台場 281 羽、鳥の島 477 羽、公園側 1 羽で合計 759 羽。繁殖はほぼ終了していたが、雛の音が 1 個所で聞かれた。 ・サギ類はアオサギ、ダイサギ、コサギの 3 種を確認。アオサギとダイサギは頭に幼綿羽<small>ようめんう</small>を残す幼鳥が見られたが、第六台場で繁殖したと断定できる情報は得られなかった。 ・シギ・チドリ類はキアシシギとイソシギの 2 種を確認。 ・猛禽類はトビを確認。

<葛西人工渚(東なぎさ)>

○調査地点の状況

満ち潮だが、干潟は広く干出していた。



○出現種(シギ・チドリ類)

5 種 15 羽のシギ・チドリ類が確認された。シロチドリは採餌、オオソリハシシギとイソシギは休息、キョウジョシギは飛翔、キアシシギはすべての行動が記録された。干潟が広く干出しているにもかかわらず、採餌する個体が少なかった。シロチドリは環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドリストで絶滅危惧ⅠA類(CR)に、オオソリハシシギは環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドリストで絶滅危惧ⅠB類(EN)に、キアシシギとイソシギ、キョウジョシギは東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種(カルガモ)

カモ類はカルガモ1種のみ。個体数は3羽と少なく、すべて干潟で休息していた。



○干潟利用状況

カワウとカモメ類の個体数が多く、カワウ 2627 羽が休息、カモメ類はウミネコ 1223 羽、オオセグロカモメ 55 羽が休息していた。ウミネコは東京都レッドリストで留意種に、オオセグロカモメは環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)に指定されている。サギ類はアオサギ、ダイサギ、コサギの3種が採餌・休息していた。ダイサギは東京都レッドリストで準絶滅危惧(NT)に、コサギは東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



<森ヶ崎の鼻>

○調査地点の状況

最大干潮時刻で、干潟が広く干出していた。



○出現種(シギ・チドリ類)

4種のシギ・チドリ類が確認された。シロチドリとキアシシギは干潟で採餌、コチドリとイソシギは護岸で休息していた。コチドリは東京都レッドリストで絶滅危惧 IA 類 (CR) に指定されている。



コチドリ



シロチドリ



キアシシギ



イソシギ

○出現種(ミサゴ)

杭上で羽繕いする1羽と魚を持って飛ぶ1羽が確認された。本種は環境省レッドリストで準絶滅危惧 (NT) に、東京都レッドリストで絶滅危惧 IB 類 (EN) に指定されている。



○出現種(サギ類)

5種のサギ類が確認された。個体数が多かったアオサギは干潟で採餌と休息、ダイサギは干潟で採餌、コサギは干潟や護岸で採餌していた。個体数が少ないササゴイは1羽が護岸で休息、チュウサギは2羽が干潟で採餌していた。ササゴイは東京都レッドリストで絶滅危惧 IA 類 (CR) に、チュウサギは東京都と環境省レッドリストで準絶滅危惧 (NT) に指定されている。



ササゴイ



チュウサギ

○干潟利用状況

カワウ 671羽が干潟で休息、カモメ類はウミネコ 200羽、ユリカモメ 1羽が主に休息していた。



干潟で休息するカワウ (黒っぽい鳥) とウミネコ (手前の白っぽい鳥) の群れ



ユリカモメ

<お台場海浜公園>

○調査地点の状況

第六台場・鳥の島でカワウの営巣はほぼ終了していた。



○出現種(カワウ)

カワウの個体数は第六台場に 281 羽、鳥の島に 477 羽、公園側に 1 羽、合計 759 羽であった。見える範囲で使用中の巣は確認できなかったが、第六台場の林内 1 箇所から雛の鳴き声が聞こえたため、雛がいる巣が少なくとも 1 巣はあると推測された。第六台場や鳥の島の樹林、護岸には巣立った幼鳥が多く見られた。



カワウ (成鳥)

○出現種(サギ類)

アオサギ、ダイサギ、コサギの 3 種が確認され、第六台場や鳥の島、公園側でカワウの群れに混じって休息する個体が多く見られた。アオサギとダイサギは頭に幼綿羽ようめんうを残す幼鳥が確認されたが、いずれも飛翔可能な状態であり、本調査地で巣立った個体とは判断できなかった。



アオサギ (矢印が幼綿羽)

ダイサギ (矢印が幼綿羽)

コサギ

○出現種(シギ・チドリ類)

キアシシギ 2 羽が公園側の岩礁で、イソシギ 2 羽が鳥の島の護岸で休息するのが確認された。

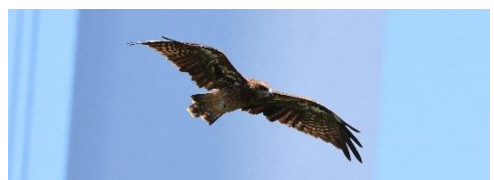


キアシシギ

イソシギ

○出現種(トビ)

第六台場上空を飛ぶ 2 羽が見られた。本種は東京都レッドリストで準絶滅危惧 (NT) に指定されている。



<その他>

○ウミネコの繁殖

砂町運河で 22 羽のウミネコが確認された。すべて成鳥で、使用中の巣や雛、幼鳥は確認されなかったことから、今季の繁殖は終了したと考えられる。なお、京葉線の高架に 993 羽のカワウがとまっているのが確認され、この場所を^{ねぐら}に利用している可能性が考えられた。



ウミネコが営巣する構造物



休息するウミネコ成鳥



高架にとまるカワウ

<トピックス>

-強風を避けるサギ類とシギ・チドリ類-

調査当日は南風が強く、特に葛西人工渚では海から陸に向かって強く吹いていた。カワウやウミネコは干潟に分布していたが、サギ類(アオサギ、ダイサギ、コサギ)の一部は風を避けるようにヨシ原の風下側に集まって休息していた。キアシシギやオオソリハシギ、イソシギも汀線より内陸側^{ていせん}で休息している個体が見られ、いずれも強風を避けるための行動と考えられた。



ヨシ原の陰で休息するダイサギとコサギ(矢印)